

手術開始前 1 時間以内の予防的抗菌薬投与率

1. 臨床的意義

手術部位感染（SSI）は、入院期間の延長や医療費の増大につながります。予防的抗菌薬は、手術開始時に十分な組織内濃度を確保することが重要であり、原則として手術開始前 1 時間以内の投与が推奨されます。本指標は、周術期感染予防策が適切なタイミングで実施されているかを評価するプロセス指標です。

2. 指標の定義とベンチマーク

定義：特定術式の手術症例のうち、手術開始前 1 時間以内に予防的抗菌薬が投与された症例の割合

分子：手術開始前 1 時間以内に予防的抗菌薬が投与された手術件数

分母：対象となる特定術式の手術件数

主な除外：18 歳未満、外来手術、緊急手術

収集期間：月次集計（年度単位で評価）

ベンチマーク：日本病院会 QI プロジェクトの平均値を超える 95%以上を目標として、自施設の経年推移を継続評価します。

3. PDCA サイクルに基づく分析と評価

【Plan（計画）】

対象手術において、切開時に有効な抗菌薬濃度が確保されるよう、薬剤選択・投与量・投与開始時刻を標準化し、SSI 発生リスクの低減を図ります。

【Do（実行）】

- ・環境整備（ハード面）：手術申込、麻酔記録、投薬記録を用いて対象症例と投与時刻を確認し、手術室で投与時刻を共有します。
- ・教育・啓発（ソフト面）：執刀医、麻酔科医、手術室看護師に対し、切開前 1 時間以内投与の意義と手順を周知します。

【Check（評価）：当院の実績と経年変化】

2024年											
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
97.7%	100.0%	98.9%	97.3%	98.2%	96.3%	98.8%	100.0%	100.0%	97.8%	97.8%	98.8%

2025年											
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
98.9%	97.9%	96.1%	97.4%	99.1%	97.5%	97.6%	98.1%	98.0%	98.9%	98.0%	97.4%

2026年											
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
97.6%	98.4%	96.4%	99.4%	97.5%							

【Act（改善）：今後の取り組み】

- ・投与率だけでなく、対象術式、薬剤選択、投与量、再投与の要否、SSI 発生状況を補助的に確認し、周術期抗菌薬適正使用の質を高めます。